



日本共産党品川区議会議員

週刊

みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674
2009年8月9日 No.673

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



教育長の
諮問機関

学校統廃合を答申

荏原西・東で小学校、大井は中学校

今週号は「教育改革」第3弾＝学校統廃合計画について。教育長の諮問機関「学事制度審議会」が昨年11月、学校統廃合を答申(下図・ウラ面参照)しました。
選択制で選ばれない学校が統廃合され

るのでは—との声に、若月教育長は「選択制を統廃合の手段にしない」「小規模校も支援する」とのべてきました。いま、この説明が問われているのに「検証 教育改革」では一言も触れていません。



校制 選択

選ばれない学校は統 廃合—心配が現実

選択制で「選ばれる学校」と「選ばれない学校」が生まれ
ました。「答申」は、小規模校を減らす方向ですが、競争
に負けたら統廃合…住民の心配が現実になりました。

「答申」の主な内容は、①区内
を6地区(品川・大崎・大井・八潮
・荏原西・荏原東)に分け、小中
一貫校、中規模校、小規模校を
バランスよく配置する。②小規
模校が多く、大きな学校を選べ
ない地区は統廃合が必要。③地
区毎に教室数と入学予定者数を
みて学校を配置する。「一学年
ひとクラス」の学校を多くしな
い、というもの。「ひとクラス
40人」を前提にしています。

「答申」は、さらに、荏原西地
区と荏原東地区では、児童数の
ピーク時でも教室数に余裕があ
るといって「将来予測」を根拠にし
てそれぞれ小学校を統廃合。ま
た、大井地区は生徒数のピーク
後の状況で、中学校の統廃合を
検討するよう求めています。
荏原西地区は、08年に平塚中

と荏原二中を統廃合し、201
0年に小中一貫校開校により平
塚小を統廃合します。大井地区
も07年に伊藤学園の開校で原小
と伊藤中を統廃合。荏原東地区
は2013年に小中一貫校開校
により大間窪小と杜松小、荏原
三中、荏原四中の段階的な統廃
合が決まっています。

しかし、「答申」は、小中一貫
校による統廃合をしたうえで小
規模校を統廃合するもの。なぜ、
これほど統廃合しなければなら
ないのでしょうか。

「子どもが減る」の予測で統廃合は乱暴
父母から「遠くまで通うのは心配」と。

子ども数が減るとの将来予測
と「ひとクラス40人」を前提の統
廃合はあまりに乱暴です。
東京都以外はすでに「少人数
学級」を導入しており、30人学
級求める声は年々広がっていま

す。また、品川区は大規模マン
ション建設を推進し子育て世代
を呼び込んでいます。将来予測
には誰も責任を持ってません。
父母や住民からは「地元の学
校が廃校されると、遠くまで通

わなければならなくなる」、「地
域と学校との関係がさらに希薄
になる」など心配の声が寄せら
れています。
強引な統廃合はやめ、「30人
学級」こそ実施すべきです。

都営住宅

単身者向、
ポイント方式など

入居者募集のお知らせ

- 申し込み—8月12日(水)まで
- 問い合わせ—区役所都市計画課へ

ご希望の方はお忘れなく



品川生活と健康を守る会の入居相談会は
Tel.3773-2391へお問い合わせください。

〈お知らせ〉 当ニュースは次週
より衆院選終了まで休みます。

無料
弁護士
が対応

法律相談

8月14日(金) Pm 6:30

みやざき克俊事務所



生活相談は随時受付